

令和6年度（神奈川県立湘南支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務員としての立場を自覚し、教職員として法令遵守意識を確固とし、公務外非行の防止に努める。	・年度当初や長期休業前には、服務について及び具体的な手続きや管理職との連絡方法について確認、遵守を呼びかけた。 ・毎月の不祥事防止ミニ研修で、教育公務員の自覚や高い倫理観と立場への意識を高め、自身の行動を点検し振り返った。報告・連絡・相談を速やかに行うよう確認、ヒヤリ・ハットを全員で共有し、再発防止に努めた。
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	職員同士がお互いの人権を尊重した言動、行動をし、誰もが働きやすい職場環境を作る。	・管理職が中心となり、ハラスメントになり得る具体的な言動や行動について自分ごととして気づく全体研修会を実施し、ワークショップを通して教員一人ひとりの意識を高めた。 ・風通しの良い職場づくりの一環も兼ねて長期休業中に健康増進週間を衛生委員会が企画、実施した。
児童生徒等に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが児童生徒の人権を尊重した指導を行い、事故不祥事の未然防止に当事者意識をもって取り組む。	・管理職が中心となり研修会を実施し、複数の教員で対応する、密室環境にしないこと等、指導時の対応方法を徹底した。 ・管理職が毎日校内巡視で教室環境の確認、指導実践の観察を行い、良い取組のフィードバックを通して未然防止に努めた。
体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重した丁寧な指導を行う。	・児童生徒の人権に配慮した関わり方や考えを深めるため、全校対象人権研修会を2回と総括教諭による不祥事防止ミニ研修を実施した。常に児童生徒の名前の敬称づけ、年齢相応の言葉かけ、身体的な距離感を意識して指導するよう共有を図った。 ・毎日、管理職と総括教諭の情報共有を行い、気になる指導等の報告を受けたら、管理職から注意喚起を行った。
入学者選抜、進路関係書類の作成および取扱いに係る事故防止	入学者選抜、進路関係資料、個別教育計画等の作成、管理を適切に行う。	・個別教育計画作成の時期には、管理方法、配付時の注意事項について再確認を行った。 ・入学者選抜業務の手順やチェック体制、緊急時対応について関係者で事前に確認を行い、適切に実施した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に管理し、情報の紛失、流出を防止する。	・県点検資料を参考にし、総括教諭による不祥事防止ミニ研修を自分ごととして考えられるよう、身近な事例を取り入れて実施した。実際に起きたヒヤリ・ハットは総括教諭同士で意見交換し、再発防止策を検討、学校全体の意識を高めるよう取り組んだ。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守と交通事故を防止する。	・交通法規の遵守、交通事故防止に関して、日常的に注意喚起を行い、連休や長期休業前には再確認を呼びかけた。 ・年末前には重点的に飲酒運転禁止や交通事故防止について総括教諭による不祥事防止ミニ研修を実施した。万一、事故になった場合の対応等の確認もできた。
会計事務、財務事務等の適正執行	私費会計基準等に則した計画的で適正な執行に努める。	・複数チェック体制で、適切な私費会計の執行ができた。私費会計マニュアルの理解と対応の徹底を図り、一部見直しも行った。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題

令和6年度は、毎日の挨拶を大切にコミュニケーションし、教員同士の関係づくりに重点を置いて不祥事防止の根幹となる風通しの良い職場づくりに努めた。また、校内巡視で教室環境の確認と指導実践の観察を行い、良い取組のフィードバックを通して未然防止を図った。特に、人権を尊重した指導や関わり方を目指して不祥事防止研修を実施、教員が主体的に自分ごととして考え、気づき、振り返るように工夫した。毎月の不祥事防止ミニ研修では、総括教諭からのわかりやすい説明や重要な点を示唆するなど短時間でも全員が共有して成果を上げた。不祥事防止会議では、実際に起きたヒヤリ・ハットを総括教諭で意見交換して再発防止策を検討、学校全体で共有して防止に努めていく。県点検啓発資料を活用して個々の取組について振り返る機会とし、不祥事防止に対する意識を高めることができた。

令和7年度も、児童生徒の人権を尊重した丁寧な指導支援に向け具体的な方策を講じたい。ヒヤリ・ハット報告の仕組みの有効活用、定期的な振り返り、課題に焦点を絞った不祥事防止研修の実施等、効果的に不祥事防止を意識した職場づくりに努めたい。